

障害者支援施設あき

基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守して、人権の尊重とプライバシーの保護につとめるとともに、福祉サービスを必要とする利用者様が、地域社会の一員として社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動に参加し、その有する能力に応じた日常生活を営むための適切な支援を行い、安全で安心できる良質な福祉サービスを提供します。

重点目標

1 スタッフ満足

- (1) 人事考課制度と内外の研修制度を連携させ、スタッフ一人ひとりが自身の力を十分に発揮し、積極的・主体的に担当業務を担うことができるように人材育成をおこない、達成感と成長が実感できる職場づくりを進めます。
- (2) 業務のムリ・ムダ・ムラを排除して、業務改善により働きやすい環境を整えます。
- (3) 人材確保を積極的に行い、業務の負担軽減につとめます。
- (4) 年次有給休暇の取得を積極的に推進して、月1回以上の取得を目標とします。

2 利用者満足

- (1) 「まごころを込めたサービスの提供」をスローガンとして、利用者様に対する人権の尊重とプライバシーの保護につとめるとともに、接遇態度を向上させ、利用者様の意向を尊重したサービスの提供につとめます。
- (2) リスクマネジメント体制の強化および虐待防止や身体拘束廃止に向けた取り組みを行い、関係法令や取り扱い指針を遵守して、利用者様が安全で安心して日常生活が送れるようにつとめます。
- (3) 「利用者満足度調査」を実施してサービスの質の向上につなげます。

3 経営満足

- (1) 法人の理念、経営方針を踏まえ、責任と使命を果たす組織づくりを行い、スタッフ一人ひとりに高い倫理観と規範意識の保持を促して、コンプライアンスの推進につとめます。
- (2) 利用者稼働率 90%を目標として増収につなげます。
- (3) 業務の効率化による残業時間の削減につとめ、対前年比 30%の削減を目標とします。

4 地域福祉推進への取り組み

- (1) 敷地内の特別養護老人ホーム八流荘および在宅サービス事業所と一体となり、地域の皆様の要望に合わせた出前講座の実施や、地域の保育園、学校と連携を深め、交流事業等を行うことで地域福祉の推進につとめます。
- (2) 南海トラフ大地震に備え、行政・関係機関との連携・協力体制のもと地域福祉避難所としての円滑な運営体制の構築につとめます。